

トホクのツケウリ栽培方法

発芽適温：25～30℃ 生育適温：20～30℃
土壌酸度：pH6.0～6.5 連作障害；3～4年あける

1. 作物特性

漬け物用のウリで不思議に思うかも知れませんが、キュウリの仲間ではなく、メロンの仲間です。確かにキュウリほどの歯切れはないものの、独特の歯切れは何とも言えない味わいで、はぐら瓜やくる瓜のようにやわらかい品種は浅漬けや鉄砲漬けに、また果実の硬くなる大白瓜などは、奈良漬などにされます。収穫漏れの無いように注意し、孫づるもこまめに摘心すれば、長期にわたってより多く収穫できます。過繁茂にすると病気も発生しやすくなります。つるの伸びを良く観察して追肥の量を調整します。

2. 畑の準備

キュウリやスイカなどのウリ科野菜の連作を避け、水はけのよい畑を選びます。つるを伸ばす方向を決めてうねを作る必要があり、つるを伸ばす場所としてマルチの端から少なくとも2～3m位確保しておきます。



3. タネまき

ポットで苗を育ててから畑に植えます。発芽適温は25～30℃で比較的高いので、暖かくなってからタネはまきましょう。発芽まで乾燥させないようにします。



4. 植えつけ

本葉3～4枚で植えます。株間は60cmが適当です。植えつけは遅霜の恐れがなくなったら、また天気がよく、風の弱い日に植えつけ、その後しっかりと水をやります。



5. 栽培管理

活着後、つるが伸び出したら親づるの葉を5枚残してその先を摘心します。子づるが伸びてきますから、勢いの良い2～3本を伸ばしていきます。



つるがビニールマルチからはみ出るまでに敷きわらなどをしておきます。子づるの4節目までに発生する孫づるは元から摘除します。

その後子づるは10～13節くらいで摘心し、孫づるの発生を促します。孫づるの1節目に雌花が咲いて果実が着きますから、その先を2枚残して摘心します。果実が成りだしたら1株当たり30gの化成肥料をつる先に施します。その後は草勢を見ながら2週間おきに追肥します。



6. 収穫

品種によって用途もそれぞれですから、収穫サイズも異なりますが、目的の大きさになったら早めに果実を収穫します。



栽培例		● まく時期 ■ 収穫期											
地域/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
冷涼地													
中間地													
暖地													